

令和6年3月診療予定表


診療時間(午前:9:00~12:00 午後:15:00~18:00) ※予告なく変更となる場合があります。

日	曜日	午前診				午後診			当直
		内科・一診	内科・二診	内科・三診	小児科	内科・一診	内科・二診	小児科	
1	金	前田隆/前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	鈴木啓
2	土	前田純	馮		岩井	隈元			穴田
3	日	休診(日直 穴田)							穴田
4	月	前田純			岩井	前田純	多田羅	岩井	竹崎
5	火	前田純	今戸	佐尾山	岩井	佐尾山	今戸	岩井	今戸
6	水	鈴木啓	多田羅	佐尾山	岩井	前田隆/前田純	多田羅	岩井	多田羅
7	木	佐尾山	多田羅		岩井	佐尾山	隈元	岩井	次田
8	金	前田隆/前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	鈴木啓
9	土	前田純	鈴木啓		岩井	浅野			桑原
10	日	休診(日直 桑原)							末田
11	月	前田純	佐藤		岩井	前田純	多田羅	岩井	竹崎
12	火	前田純	今戸	佐尾山	岩井	佐尾山	今戸	岩井	今戸
13	水	鈴木啓	多田羅	佐尾山	岩井	前田隆/前田純	多田羅	岩井	多田羅
14	木	佐尾山	多田羅		岩井	佐尾山	隈元	岩井	次田
15	金	前田隆/前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	鈴木啓
16	土	前田純	馮		岩井	岸野			桑原
17	日	休診(日直 桑原)							阪梨
18	月	前田純			岩井	前田純	多田羅	岩井	竹崎
19	火	前田純	今戸	佐尾山	岩井	佐尾山	今戸	岩井	今戸
20	水	休診(日直 川井)							村田
21	木	佐尾山	多田羅		岩井	佐尾山	隈元	岩井	次田
22	金	前田隆/前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	鈴木啓
23	土	前田純	鈴木啓		岩井	鈴木啓			高橋重
24	日	休診(日直 高橋重)							吉岡
25	月	前田純	佐藤		岩井	前田純	多田羅	岩井	竹崎
26	火	前田純	今戸	佐尾山	岩井	佐尾山	今戸	岩井	今戸
27	水	鈴木啓	多田羅	佐尾山	岩井	前田隆/前田純	多田羅	岩井	多田羅
28	木	佐尾山	多田羅		岩井	佐尾山	隈元	岩井	次田
29	金	前田隆/前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	鈴木啓
30	土	前田純	馮		岩井	隈元			津村
31	日	休診(日直 津村)							

※多田羅Dr.6・13・27日の午後診は 16:00~18:00 4・11・18・25日の午後診は 15:00~17:00
 ※皮膚科・形成外科は予約診療・訪問診療を行っています。

専門 外来	消化器内科	前田隆史 前田純	呼吸器内科	前田隆史
		今戸涼資 佐藤雄大	呼吸器外科	佐尾山信夫
	消化器外科	隈元謙介 鈴木啓文	泌尿器科	多田羅潔
		浅野栄介 岸野貴賢	小児科	岩井朝幸
		馮東萍		

当院では、正面玄関や病棟に「ふれあいの箱」というご意見箱を設置しておりますので、当院に対するご意見・ご要望等ございましたらご遠慮なくお聞かせください。



普通寺 前田病院

広報 純心便り

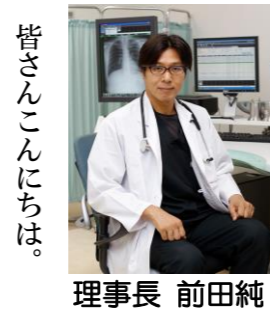
2024年
3月
 第191号

トピックス

- 今月の一言・・・理事長
- 丸亀ハーフマラソン出場しました
- 尿路感染症について
- 旬の素材で簡単料理

「純心会理念」

信頼される医療
 想いと優しさの伝わるケア
 私たちはそれを目指します



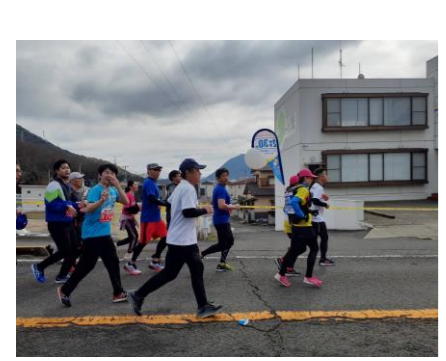
理事長 前田純

皆さんこんにちは。
 3月になり、だんだんと暖かくなって来ました。暖かくなってくるのは良いのですが、この時期になると厄介なのがスギやヒノキの花粉が盛大に飛散しはじめることで、私自身もひどい花粉症持ちなので毎年この時期には苦勞しております。今年は去年ほどでは無いとのことですが、例年よりは多めとのことですので、皆さんお気をつけ下さい。

さて、話は全く変わりますが、先日ニュースで二〇二三年の一年間の出生数が発表されていきました。75万人であったとのこと。数年前に出生数が100万人を下回ってまい、みたいに言っていたかと思いますが、あつという間に4分の3になってしまいました。ちょうど私が第二ベビーブームの頃、生まれで、その頃の出生数が209万人ほどであったとのことなので、その頃の3分の1ほどしか人が生まれていない、ということに

なります。これはこれで大変だなあ、と思いますが、お隣の韓国では昨年の合計特殊出生率が0.72(日本は1.29)であったとのこと。日本より大変な状況になっている様です。当然のことながら出生率が2を超えないと人口は増えませんが、先進国で2を超えている国はイスラエルだけです。(イスラエルは宗教的な理由で子供をたくさん産まなければならぬという信仰があり、宗派によっては避妊や中絶も禁止されているそうです。)ある程度、社会と経済が成熟してくると少子化、人口減少に向かうのはしょうがないんだろうなと思います。とはいえ急激な少子化が起こると社会のシステムが立ち行かなくなる可能性が高いので、大事なことは人口が減っていく中でそれをどうソフトランディングさせて、社会のシステムを人口が減ってもやっていける様に作り変えていくのか、という事なんじゃないかな?などと考えています。(特に日本の社会システムは第二世界大戦後の偏った人口増加とそれに伴う高度成長のもとに構築されたものなので、そのままでは人口減少のターンには対応するのは難しいのでは?と思っています。)

どちらにしても日本の人口はもうどうやっても減っていくので、政府にはやたらと子育て支援にお金を突っ込むのではなくて、(もちろん財政に余裕があれば子育て支援はそれはそれで頑張ってもらえば良いのですが、あまり少子化対策としては効果が無いと思っています。)今後人口が減っていくこの国をどういう形にしていけるのか、という事をちゃんと検討して示していかないと、というふうに思っています。



三寒四温を繰り返しながら春の気配を感じられ出した立春の候。前日から不安視された天候もスタート前に雨が上がり、絶好のマラソン日和となった二月四日、第76回香川丸亀国際ハーフマラソン大会が開催されました。純心会からも数名参加し、完走や自己記録更新を目指しゴールまで駆け抜けました。また、沿道で給水スタッフとして参加し、熱い声援を送りながら選手たちをもてなしました。



丸亀ハーフマラソン



尿路感染症について



尿路感染症とは

尿路感染症とは、尿の通り道である尿道口から菌が侵入し、体内で繁殖する感染症の総称です。

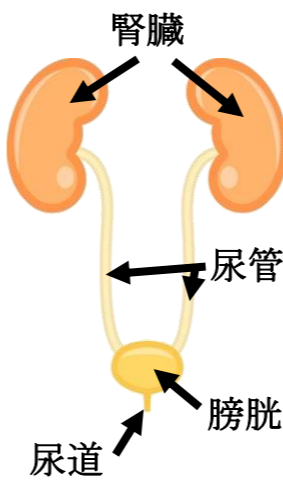
侵入した菌が繁殖する場所によって病名が異なり、膀胱炎、尿道炎、腎盂腎炎などがあります。

膀胱炎や尿道炎など、尿道口に近い部分の尿路感染症を下部尿路感染症、腎盂腎炎などのより上部の尿路感染症を上部尿路感染症と分けることもあります。

下部尿路感染症では排尿痛、頻尿、血尿といった尿の症状が中心になり、上部尿路感染症では高熱、腹痛、吐き気といった症状が出ることがあります。

尿路感染症は尿道が短い女性で起こりやすい傾向がありますが、2歳までの乳幼児では男女で同じくらいの頻度で発症するといわれています。

また、放置すると再発を繰り返し、治りにくくなることもあるため、早めの受診と徹底した治療が必要になります。



原因

尿路感染症は、尿道口から菌が侵入して、体内で繁殖することによって起こります。

尿路とは尿道口から腎臓までを指す言葉で、尿路感染症は尿道口→尿道→膀胱→尿管→腎臓と、感染の範囲が徐々に広がっていく特徴があります。

感染が腎臓まで達すると上部尿路感染症と呼ばれ、症状が重くなる傾向があります。

尿路感染症の原因はほとんどの場合が大腸菌などの細菌ですが、ウイルス感染である場合もあります。

また、細菌やクラミジアなどの性行為によって感染する病原菌が原因であることもあります。

尿路感染症には、単純性尿路感染症と複雑性尿路感染症があります。

単純性尿路感染症とは、ほかに関連する病気がないときに生じる尿路感染症です。一方、複雑性尿路感染症は尿路上結石やがんなどの病気があるときに生じる尿路感染症です。

複雑性尿路感染症は、単に尿路感染症を治療しただけでは再発しやすいため、併せて尿路にある結石やがんなどの病気の治療を行うことが大切です。

検査と診断

尿路感染症の診断は症状と尿検査、尿培養、血液検査、画像検査などの結果に基づいて行われます。

尿の中に実際に細菌が感染しているかどうかは尿培養で細菌の存在を確認する必要がありますが、結果が出るまでに時間がかかることが多いため、尿中の白血球の有無と排尿痛などの症状や背中をたたいたときの痛みの有無などから診断が行われることが一般的です。

血液検査では全身の炎症反応の有無を調べることができ、前立腺や腎臓の状態を示す検査値を調べることで尿路感染症の位置を調べることもできます。

画像検査は血液検査や尿検査では診断できないとき、症状が強く状態を把握したいときなどに行われることがあり、CTや超音波検査があります。

尿検査では診断できないとき、症状が強く状態を把握したいときなどに行われることがあり、CTや超音波検査があります。

治療

尿路感染症の治療は、抗菌薬による薬物治療が中心になります。

基本的には飲み薬で治療しますが、腎盂腎炎では入院のうえ点滴での治療が必要になることもあります。

治療期間は人によっても異なりますが、膀胱炎であれば3日程度、腎盂腎炎では1週間、2週間程度かかることが多いです。

抗菌薬を投与し始めて早い段階で症状の改善がみられても、体内の細菌をしっかりと殺すために一定期間投与し続ける必要があります。

また、治療中は尿路に住み着いた細菌をしつかりと排出する必要があるため、水分を取って尿をたくさん出すことも必要になります。

残尿が多く、尿を素早く体外に排出する必要がある場合は、カテーテルを膀胱内に留置し尿の排出を促すドレナージとよばれる方法がとられることもあります。

残尿が多く、尿を素早く体外に排出する必要がある場合は、カテーテルを膀胱内に留置し尿の排出を促すドレナージとよばれる方法がとられることもあります。

種類と症状

【尿道炎】

尿道炎は、尿道に細菌が感染して、炎症を起こすもので、感染の多くは性行為によるものとされています。

急性と慢性があり、また、淋菌が原因になって起こる淋菌性尿道炎と、その他の細菌が原因となる非淋菌性尿道炎にわけられます。

女性では尿道炎膀胱炎、男性では前立腺炎を合併することがあります。

○淋菌性尿道炎

急性の場合、尿道に灼熱感があり、尿道口から膿が出ることがあります。また、尿意を感じやすくなります。

慢性では自覚症状に乏しい場合があります。気づかずに放置すると、尿道狭窄を起こす恐れもあります。

○非淋菌性尿道炎

尿に膿が混じったり、尿道や会陰部に不快感が生じたりします。

【膀胱炎】

膀胱には細菌に対する免疫力があるため、健康な状態であれば、感染することはありません。

しかし、疲労や風邪、ストレス、月経、身体の冷えなどにより、免疫力が低下すると、膀胱の粘膜に細菌が感染し、膀胱炎を起こすことがあります。また、排尿を長期間我慢したときなども膀胱炎になることがあります。

膀胱炎には、急性膀胱炎と、慢性膀胱炎があります。

○急性膀胱炎

排尿時の痛み、頻尿、残尿感があります。また、尿に膿が混じって濁ったり、血尿がみられることもあります。

○慢性膀胱炎

慢性的に膀胱炎を引き起こす原因疾患があることが考えられ、症状は軽いか、自覚症状に乏しい場合があります。

【腎盂腎炎】

腎盂および腎臓に細菌が感染して、炎症が起こる病気です。急性と慢性があり、さらに急性は単純性と複雑性にわけられます。

○急性腎盂腎炎

単純性腎盂腎炎の多くは、尿が膀胱から、尿管へと逆流する現象によって引き起こされる上行性感染が原因であると考えられています。

複雑性腎盂腎炎は、尿管結石などの何らかの病気で、尿の流れが滞った場所に細菌が感染して、腎盂ないし腎臓に炎症が及ぶものです。

悪寒や震えを伴う38度以上の高熱がでます。熱は上がり下がりが激しいのが特徴です。腰が鈍く痛んだり、または、たたくと痛みがあります。尿に膿が混じり、濁りがみられます。

○慢性腎盂腎炎

何らかの病気によって、慢性的に腎盂腎炎を起こしやすい状況になっている場合があります。腎盂腎炎を起こしやすい病気として、糖尿病や高血圧、痛風などがあります。

活動期の症状は、急性腎盂腎炎とほぼ同じです。非活動期の症状は、全身のだるさや、微熱、残尿感などがあります。

血圧上昇を抑え身体のむくみ改善効果UP「かぶ」



【作り方】

- ① かぶは皮をむき、8等分のくし切りにする。葉の部分は2～3cm幅に切る。
- ② フライパンにサラダ油としょうがチューブ、豚ひき肉を加えて中火で炒める。
- ③ くし切りにしたかぶとAを加えて煮立たせ、7～8分煮る。かぶの葉も加えて1～2分煮る。
- ④ 火を止めて片栗粉を倍量の水で溶き、ゆっくりと加えながらかき混ぜてとろみ付けしたら完成♪

●●● とろとろかぶのそぼろ煮 ●●●

【材料2人分】

かぶ・・・2個(300g)、豚ひき肉・・・150g、サラダ油・・・小さじ1、しょうがチューブ・・・小さじ1、片栗粉・・・大さじ1、A 水・・・300ml、みりん・・・大さじ3、しょうゆ・・・大さじ1+1/2、酒・・・大さじ1、砂糖・・・大さじ1/2、ほんだし(顆粒)・・・小さじ1/2、

